

氏 名 若生 裕太(わこう ゆうた)



Profile

氏 名	若生 裕太(わこう ゆうた)
所 属	三菱オートリース
記 録	やり投げ 60m03＝日本記録
障 害	視覚障害(F12クラス)
出 身	東京都 (大森第四小-大森第一中-日本大学鶴ヶ丘高校-日本大学)
指 導	奈良歩夢コーチ 高石祐基トレーナー 辻秀一メンタルトレーナー
テ ー マ	『人生すべてポジティブ要素』(自己啓発・スポーツ)

【若生選手より】

小学1年生から野球を始め、高校は甲子園出場経験のある強豪・日大鶴ヶ丘高校に進学し、主将を務めた。体育教師を目指し、日本大学文理学部体育学科に在学中の20歳の頃にレーベル病を発症。視力を大きく失い、視覚障害者として新たな人生の道を歩むことになる。絶望の中で自分にできることを模索する中、2018年4月にパラスポーツに出会い、同年6月からやり投げに専念。競技開始からわずか1年後の2019年に日本記録を樹立し、以降も日本記録を塗り替え続けた。2023年の日本パラ陸上競技選手権大会で自己ベスト60m03を記録。2024年にはパリパラリンピックに出場し、視覚障害クラス(F12/13)で7位入賞。アジアパラ競技大会(杭州2022大会)でも銅メダルを獲得するなど、日本の視覚障害やり投げの第一人者として国内外の舞台で活躍を続けている。

これまで日本パラ陸上競技選手権で連覇を重ね、2025年現在も多くの大会で優勝を果たしながら、2028年ロサンゼルスパラリンピックでのメダル獲得を目指し挑戦を続けている。競技活動と並行し、講演活動やイベント参加も積極的に行い、自身の経験を次世代へと語り継いでいる。